

2025年8月25日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所3号機における主蒸気系統圧力伝送器の不具合について

1. 事象概要

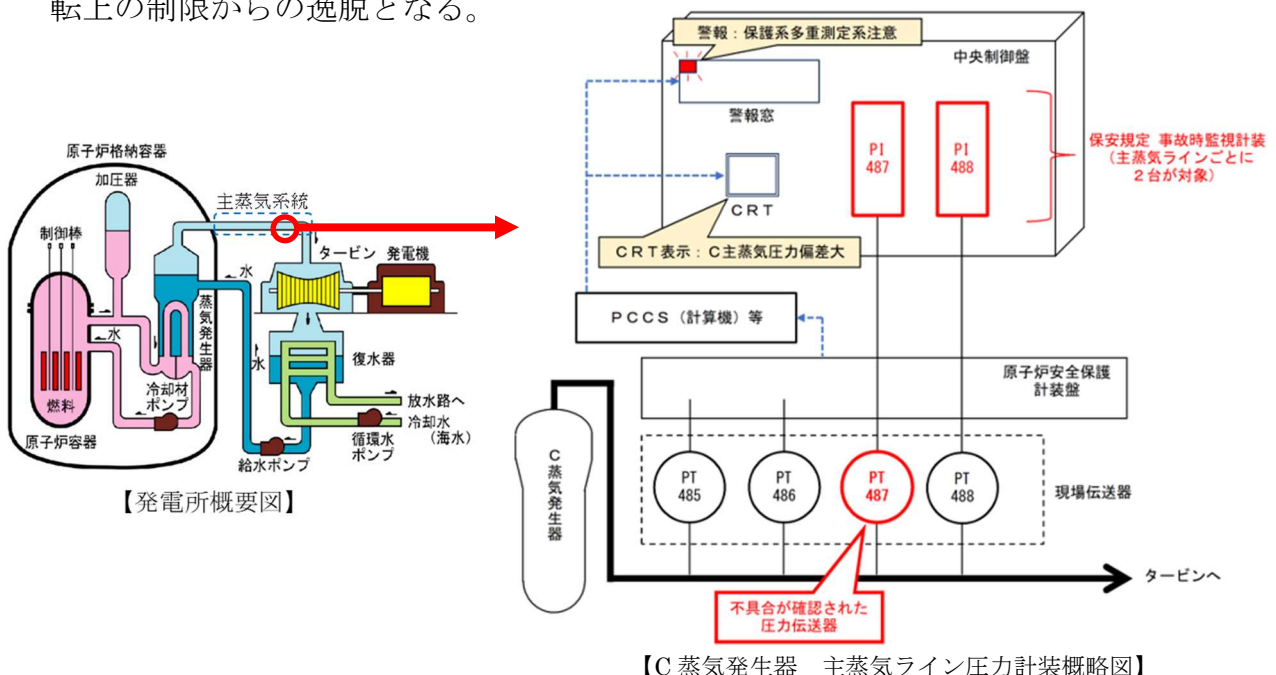
- 2025年6月28日、調整運転中の玄海原子力発電所3号機において、主蒸気系統の圧力を計測している計器4台のうち1台の指示値が正しい値を示していないことを確認し、当該計器の点検を実施することとしたため、同日、保安規定に定める運転上の制限の逸脱を判断し、保安規定にあらかじめ定めたとおり、計器の補修作業を行いました。
- なお、点検において、当該伝送器を予備品の計器に取り替え、その後、正常に圧力が計測されていることを確認したことから、6月29日に運転上の制限の逸脱から復帰しています。
- また、点検期間中においても、主蒸気系統の圧力は、当該計器以外の複数の計器で計測し、適切な圧力を維持していることを確認しています。
- 原子力発電所の安全性に問題はなく、本事象による環境への放射能の影響はありませんでした。

2. 原因究明と対策

- 取り外した計器をメーカーの工場に送り原因究明を行い、原因と対策の取り纏めを行っています。原因が判明次第、再発防止策を講じてまいります。

(参考) 運転上の制限

保安規定には、原子力発電所の安全機能を確保するために必要な項目を「運転上の制限」として定めており、その制限を逸脱した際の措置についてもあらかじめ定めている。今回点検した計器が動作可能であることが、その項目に含まれるため、点検期間中は運転上の制限からの逸脱となる。



以上